

何やあ、そんなのあかへんわあ

一人、部屋で夢想にふける。

小学校六年の時、伊勢の修学旅行の事を思い出した。

伊勢へ修学旅行へ行ったとき、

伊勢の海岸を夕方、皆で歩いて、

風が強く、その後、大広間で、

皆で夕食を食べた時の事が頭に浮かぶ。

観光バスで、クラスの女の子が、歌を歌ってた。

歌がうまいので、男連中は聞き入っていた。

その時の歌の歌詞が、
当時流行していた歌謡曲で、
「一人ぼっちの、お部屋で、夢みるは、あの人」
で、始まっていた。

「よくまあ、ませた歌、歌うなあ。」と、
あの時は思ったが、

「なる程、これがその気持ちか」
と、今は、一人、部屋に入り、
夢想にふけていると感じる。

しかし、あれは女の子が男の子を恋する歌だった。

男としては、ひとり部屋で、夢みるなんて、
何か、消極的で、男らしくないなあ。
今の自分が、情けない思いになる。